

LMD6/7

LMD6000/LMD6500/LMD7000 消耗品リスト



※2018年8月1日より価格改定

Aug 2018

★フォイル付スライド

品名	品番	定価
フォイル付スライドガラス 2.0 μ m (PEN) 50枚	11505158	¥36,000
フォイル付フレーム 1.4 μ m(PET) 50枚	11505151	¥39,000
フォイル付フレーム 0.9 μ m (POL) 50枚	11505188	¥41,000
フォイル付フレーム 4.0 μ m (PPS) 50枚 (LMD7, LMD7000用)	11600294	¥60,000
フォイル付スライドガラス 4 μ m (PEN) 50枚 (LMD7, LMD7000用)	11600288	¥36,000
フォイル付フレーム 4 μ m(PEN) 50枚 (LMD7, LMD7000用)	11600289	¥50,000
RNase-Free フォイル付スライドガラス 2.0 μ m(PEN) 50枚	11505189	¥53,000
RNase-Free フォイル付フレーム 1.4 μ m(PET) 50枚	11505190	¥55,000
RNase-Free フォイル付フレーム 0.9 μ m (POL) 50枚	11505191	¥55,000
蛍光用フォイル付フレーム 1.1 μ m 5枚	11600250	¥44,000
DIRECTOR スライド 10枚(LMD用)	11600249	¥37,000.-

※150倍対物レンズを使用する場合には、フォイル付きフレームをご使用下さい。

★ PCR チューブ (電動ステージ/スキャニングステージ 両ステージ対応チューブのみ掲載)

0.5ml 用 Axygene社 PCR チューブ (DNase フリー/RNase フリー/エンドトキシンフリー) フナコシ社取扱 PCR チューブ シングルフラット蓋 0.5ml (1000本)	品番: PCR-05-C	¥5,600 (参考価格)
0.2ml 用 Axygene社 PCR チューブ (DNase フリー/RNase フリー/エンドトキシンフリー) フナコシ社取扱 PCR チューブ シングルフラット蓋 0.2ml (1000本)	品番: PCR-02-C	¥6,600 (参考価格)
0.2ml 用 グライナー社 PCR チューブ PCR チューブ 0.2ml シングル フラット蓋 (500本 x2)	品番: 683201	¥10,000 (参考価格)

※製品の仕様や価格は予告なく変更される場合があります。

★ 培養細胞用ディッシュ

品名	品番	定価
LCC ディッシュ ペンフォイル 20枚入(4 μ m) (LMD7, LMD7000用)	11600295	¥33,000

★ 川本法関連品

川本法関連の最新材料・購入については直接 SECTION-LAB に問合せ下さい (e-mail: info@section-lab.jp)

※価格は2019年4月現在のものです。製品の仕様や価格は予告なく変更する場合があります。

ライカマイクロシステムズ株式会社

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-29-9

www.leica-microsystems.co.jp e-mail: lmc@leica-microsystems.co.jp

良くある質問 (Q&A)

Q.1 LMD 消耗品のフォイル付きスライドとフォイル付きフレームの違いを教えてください。

A.1 「フォイル」とは、プラスチック素材を薄く伸ばした膜を意味します。
「フォイル付きスライド」とは、スライドガラスにフォイルを張ったもの、
「フォイル付きフレーム」とは、金属フレームにフォイルを張ったものになります。

Q.2 フォイル付きスライド／フレームの名称に書かれているカッコ書きのアルファベットは何ですか？

A.2 カッコ書きのアルファベットは、フォイル素材の名称です。

PEN : Polyethylene Naphthalate (ポリエチレン ナフタレート)

最もポピュラー、明視野観察向き。素材が粗面の為、切片や細胞の貼りつきが良い。
核酸を対象とした実験に最も多く使用される。質量分析にも使用可能*。

PET : Polyethylene Terephthalate (ポリエチレン テレフタレート)

プラスチック可塑剤が少なく、質量分析にも使用可能*。

PPS : Polyphenylene Sulfide (ポリフェニル スルフィド)

PEN とほぼ同様の用途に加えて、自家蛍光が少なく蛍光観察向き。

POL : Polyester (ポリエステル)

比較的平滑面の為、染色体標本向き。

*質量分析をされる場合は、まず PEN フォイルでお試してください。

Q.3 蛍光染色をする場合は、どの消耗品を選択するのが良いですか？

A.3 通常の蛍光顕微鏡で観察できる明るさであれば「フォイル付フレーム 4.0 μ m (PPS)」を
お選びください。微弱な蛍光の場合は、「蛍光用フォイル付フレーム 1.1 μ m 5枚」をお勧め致します。

Q.4 質量分析をする場合は、どの消耗品を選択するのが良いですか？

A.4 質量分析では、「フォイル付フレーム 1.4 μ m(PET)」が推奨されますが、「フォイル付スライドガラス
2.0 μ m (PEN)」も可能と思われます。もし回収した対象物のピークが重なるようでしたら、特殊な
「DIRECTOR スライド」をご検討ください。

Q.5 回収用の PCR チューブは、どのメーカーの物も使用できますか？

A.5 基本的にフラットタイプのキャップの付いた PCR チューブで形状を選びますので、安全の為、弊社で確
認の取れている商品をご使用ください。

弊社で確認の取れている PCR チューブは、表面に掲載していますのでご参照ください。

ステージタイプ（電動ステージ、スキャニングステージ）によって多少異なります。ご注意ください。

Q.6 PCR チューブのキャップの中にバッファーを入れて回収できますか？

A.6 できます。ただし周辺環境によりバッファーが乾燥する場合がありますので、事前にご確認頂いた
上で長時間にわたっての回収はお避けください。またバッファー量ですが、0.5ml PCR チューブが
おおよそ 50~60 μ L で 0.2ml PCR チューブが 20~30 μ L くらいもしくは、チューブキャップ底面が
液で覆われる量が目安です。

Q.7 回収後、市販の核酸抽出キットは使用できますか？

A.7 できます。Qiagen 社、Invitrogen 社、タカラバイオ社などの他各社のキットがご利用いただけます。
キットの種類としては、微量サンプル向きのものがお勧めです。

Q.8 厚みの違うフォイル商品がある場合は、どちらを選択したら良いのでしょうか。

A.8 厚みがあるフォイルは、回収する対象物が小さい場合にご使用ください。厚みがある分より落下
しやすくなっております。ただし厚みがある分使用できる機種は、LMD7 と LMD7000 に限られます。